

## 科 目 名

# 日本国憲法 Constitution

2年 前期 2単位 選択

鈴木 義 孚

## 概 要

法のなかで、憲法学ほどポピュラーな学問はない。それにもかかわらず、こんにちのわれわれの生活状況は、必ずしも満足すべきものではない。今日の憲法学は、明治憲法に比べれば飛躍的に進んでいるが、新しい状況に対応するには充分でないところがある。そこで、これから憲法を学ぼうとする学生のために、これまでの憲法的知識を整理して伝え、憲法学的なものの考え方を知ってもらうため、鳥瞰図的に基本的人権を中心に具体的事例を挙げて、判例をまじえながら講義を進めていく。

## 授業計画

テ ー マ	内 容
① 憲法とは何か	憲法の意義、憲法の特質、憲法の種類
② 憲法の歴史	近代憲法の歴史、明治憲法の成立、日本国憲法の制定
③ 国民主権と天皇	主権の所在、主権の具体化
④ 平和主義	戦争の放棄、戦力への不保持、国家の安全保障
⑤ 基本的人権	法の下での平等、自由権、社会権、国務請求権、参政権
⑥ 憲法改正	憲法の変動、憲法改正の限界、日本国憲法の改正

## 授業方法

講義の後、問題を出して解答を書かせることがある。

## 評価方法

定期試験を重視する。

## 教 材

教科書：三好 充、鈴木義孚、長谷川史明 著「テキストブック憲法」 嵯峨野書院

## 履修上の注意

憲法を学ぶにあたって、憲法の憲法たるところはどこにあるか、憲法はどのようなはたらきをするものであるか、憲法はなんのためにあるのかを念頭において、つねに憲法の立場に立ち、憲法に照らして、国家生活における事実を見てもらいたい。